

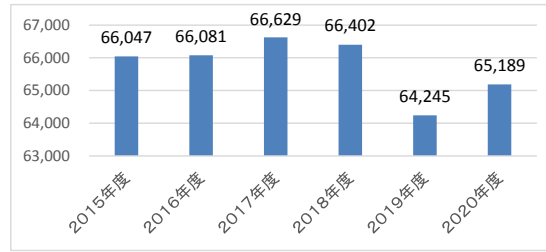
\* 指標の件数は山崎病院及び山崎病院介護医療院の情報を集計しています

## 【入院】

### 入院延患者数

#### 【指標の説明】

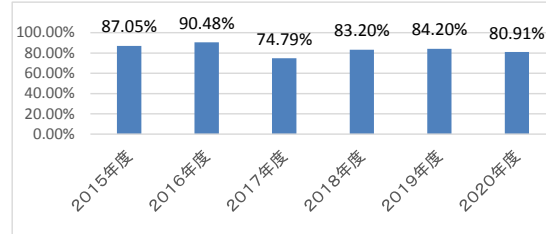
入院された延患者数を示しています。急性期から回復期・慢性期の患者を受け入れています。多職種が結束したチーム医療を展開し、患者の人間性を尊重した医療・看護・介護が提供できるよう努めています。



### 地域包括ケア病床 在宅復帰率

#### 【指標の説明】

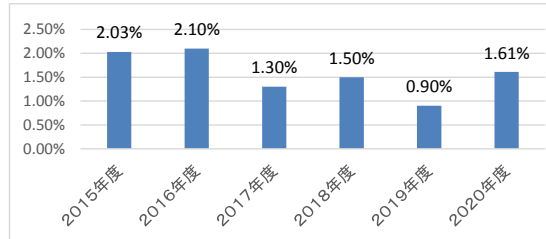
自宅などに退院される方が多いほど在宅復帰率は上がります。当院では安心して在宅復帰ができるよう多職種や関係機関と連携を図りながら退院支援をしています。



### 新規褥瘡発生率

#### 【指標の説明】

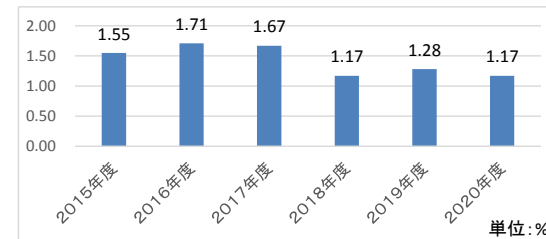
褥瘡は看護ケアの質評価の重要な指標の1つとなっています。当院では褥瘡対策を討議・検討し褥瘡発生の予防、早期発見治癒及び軽減を図っています。



### 転倒・転落率

#### 【指標の説明】

転倒・転落率とは入院患者の延べ人数に対する発生した転倒・転落の件数の割合です。当院では転倒・転落の危険性を評価し具体的な対策を実施し病院全体で取り組んでいます。

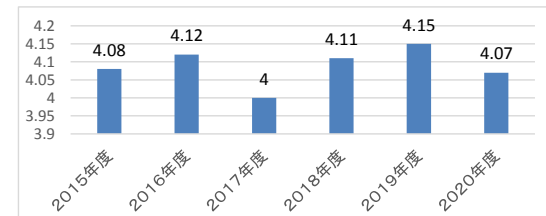


### 介護医療院 平均介護度

#### 【指標の説明】

要介護認定が高い方が多いほど平均介護度が上がります。当院では要介護認定が高い方でも安心して療養できるよう医療・看護・介護の質向上に取り組んでいます。

\* 2018年5月に介護療養病棟から介護医療院に変更

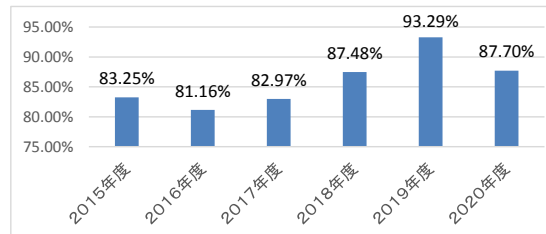


## 【リハビリ】

### 回復期リハビリテーション病棟 在宅復帰率

#### 【指標の説明】

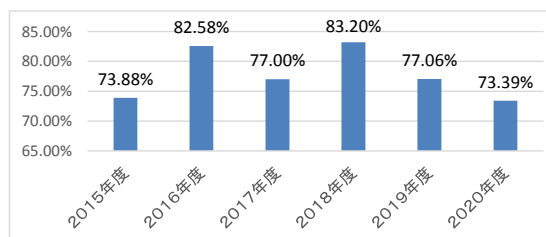
自宅などに退院される方が多いほど在宅復帰率は上がります。当院では退院後の在宅生活を見据えチーム医療でリハビリに取組み安心して在宅復帰ができるよう退院支援をしています。



### FIM改善率

#### 【指標の説明】

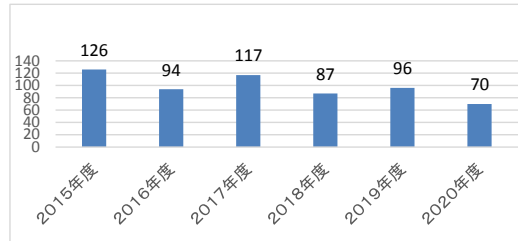
FIMとは日常生活動作の評価法です。改善率が高くなるほど日常生活動作が向上したと言えます。当院では多職種が連携しながらリハビリに取り組んでいます。



## 脳血管疾患リハビリ件数

### 【指標の説明】

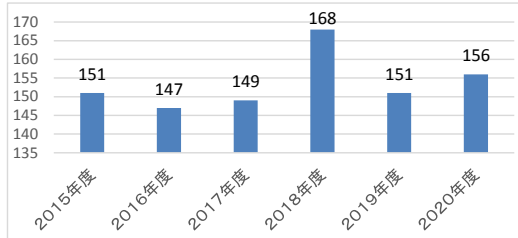
脳血管疾患とは、脳梗塞・脳出血などの中枢神経疾患、パーキンソン病などの神経疾患、失語症・認知症などの高次脳機能障害を対象とします。リハビリ内容は、運動機能・基本的動作能力・応用歩行能力の回復等を目的とする理学療法や、日常生活や社会的適応能力・高次脳機能障害の回復等を目的とした作業療法、言語・摂食機能の回復等を目的とした言語療法を実施しています。



## 運動器疾患リハビリ件数

### 【指標の説明】

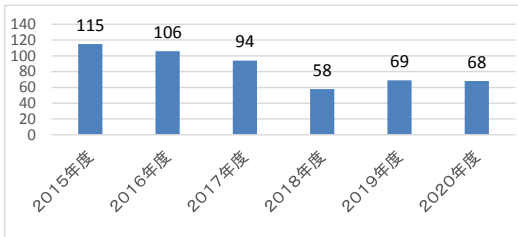
運動器疾患とは、大腿骨頸部骨折や腰椎圧迫骨折、変形性関節症、腰痛や頸部痛などがあります。運動器の疾患は仕事や日常生活の動作を困難にし、私たちの生活の質(QOL)を低下させる大きな一因となります。リハビリ内容は、運動療法(ストレッチや筋力強化)などを行い、身体機能を可能な限り改善することを目的として、日常生活の質(QOL)の維持・向上のために実施しています。



## 呼吸器疾患リハビリ件数

### 【指標の説明】

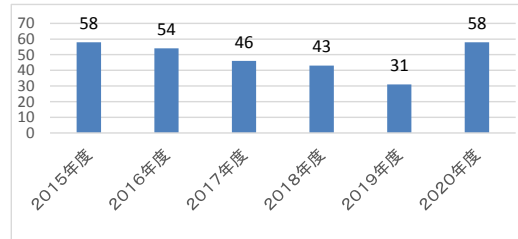
呼吸器疾患とは、急性発症の肺炎、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎、閉塞性細気管支炎、慢性呼吸不全、気管支喘息などがあります。肺機能に障害を持たれた方々に対して適切なリハビリを提供していくことが必要であり、可能な限り機能を回復・維持させ、これにより患者自身が自立できることを継続的に支援していくために実施しています。



## 心大血管疾患リハビリ件数

### 【指標の説明】

心大血管疾患とは、急性心筋梗塞、慢性心不全、心臓手術などがあります。リハビリでは、循環器疾患の患者に対して、運動療法により下肢の筋力強化練習や自転車エルゴメータを用いて行っています。急性期治療後の社会復帰や予防医学に力を発揮するのが心大血管リハビリです。適切なリハビリを行うことで、生活の質(QOL)や予後の改善の効果がああります。

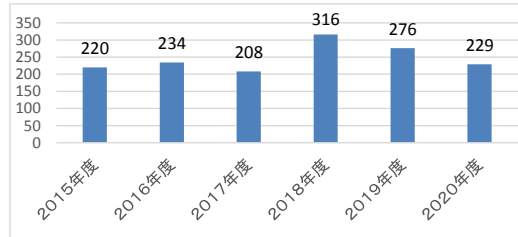


## 【 検 査 】

### 上部内視鏡検査件数

#### 【指標の説明】

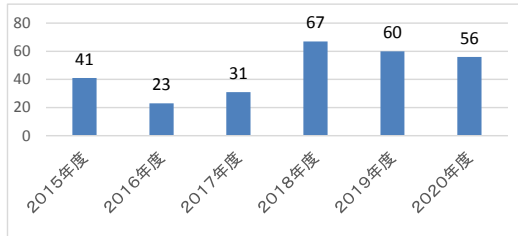
上部内視鏡検査(胃カメラ)とは鼻または口から内視鏡を挿入して消化管を観察する検査です。食欲不振・胸やけ・痛み・吐き気などの症状がある場合に行います。当院では鼻から挿入できる内視鏡があり吐き気や息苦しさが少ない検査が可能です。2017年度より胃がん検診はバリウムを使用した胃透視だけでなく内視鏡での検診もできるようになりました。



### 下部内視鏡検査件数

#### 【指標の説明】

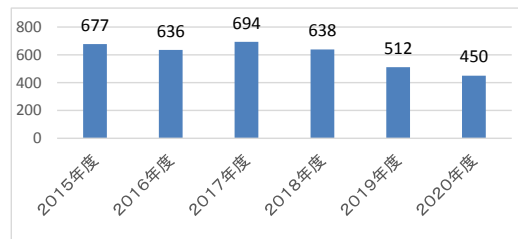
下部内視鏡検査とは肛門から内視鏡を挿入して大腸と小腸の一部を観察する検査です。大腸がん検診・その他便の検査で潜血反応が出た場合、実施するケースが多くなっています。ポリプ切除する場合は入院も必要となります。安全に行うため丁寧な説明・検査を心がけています。



### 心臓超音波検査件数

#### 【指標の説明】

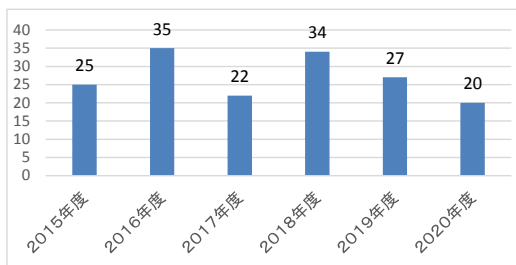
心臓超音波検査とは、胸部(心臓付近)にゼリーを塗り、超音波を出すプローブという機器を胸にあて、心臓の大きさ・動き・血管の形・血液の流れなどを調べ心臓の働きを評価します。心筋梗塞や心肥大、弁膜症、先天性疾患等が分かり、治療方法の選択・治療効果の判定などに役立っています。



### 嚥下造影検査件数

#### 【指標の説明】

嚥下造影検査とはX線透視下で、食事をしている時の口や喉の状況を確認する検査です。検査では食物を食べていただき、実際にその通過状況を確認することができます。検査結果を基に誤嚥の確認や、安全に食べるために必要な方法（食物形態、食事姿勢など）の提案もしております。

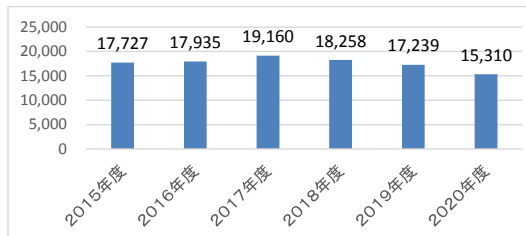


### 【 外 来 】

#### 外来延患者数

#### 【指標の説明】

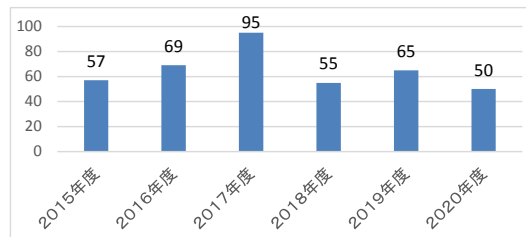
歯科を除く外来の延患者数を示しています。地域に根差した病院として、安全で質の高い外来診療ができるよう取り組んでいます。



#### 救急搬送 受入件数

#### 【指標の説明】

救急隊からの要請に対して救急車を受入れた件数を示しています。傷病者の方への迅速・適切な医療を提供し地域の方の健康維持に貢献できるよう取り組んでいます。



#### 特定健康診査件数

#### 【指標の説明】

特定健康診査とは生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査です。当院では地域の方々の健康維持・増進に寄与するため特定健康診査を積極的に行っています。

